

# サポートチームだより

## 「南十勝」一体で連携を ～南十勝教育振興会で部活動地域展開を考える～

令和8年2月27日（金）、中札内村で「南十勝教育振興会担当者会議」が開かれ、部活動地域展開に係る連携等について、中札内村、更別村、大樹町、広尾町と忠類地区の関わりから幕別町も参加し、協議や情報提供が行われました。十勝教育局からは教育支援課主査（地学協働）の有働 雅哉が出席し、「北海道部活動の地域展開に関する推進計画（案）」について説明を行いました。

また、中札内村と更別村からは両村の取組などが紹介され、広域連携に向けたイメージを共有しました。会議では、今後の南十勝における地域クラブの在り方などについて協議が行われ、南十勝が一体となって取り組むための方策が話し合われました。

意見交換では、「広域での移動は活動時間への影響が心配」「複数市町村で一つのクラブをつくることも考えられる」などの意見が出され、活発な協議が行われました。今回の会議は、南十勝の各町村が連携し、地域の実情に応じた持続可能な地域クラブの在り方について検討を深める契機となりました。



協議する参加者

## 「社会教育関係者の皆さんにもぜひ関心を」 ～社会教育委員長会議で部活動地域展開を説明～

令和8年3月6日（金）、芽室町中央公民館において「令和7年度（第29回）十勝管内社会教育委員長等研修会」が開催され、十勝教育局教育支援課主査（地学協働）の有働 雅哉（＝右写真）が、部活動地域展開について情報提供を行いました。この研修会は、十勝管内の社会教育の振興充実に向けて、管内市町村の社会教育委員長等が一堂に会し、社会教育について考える機会として開催されたもので、管内から40名以上が参加しました。情報提供の中で有働主査は、「都市部とは人口密度が異なるため、都市部と同じ考え方で取組を進めることは無理が生じやすい」と述べるとともに、「部活動地域展開には様々な形があり、それぞれの市町村の実情に応じた『オリジナル』の取組を考えていくことが重要」であることを説明しました。また、「部活動地域展開は社会教育の要素が多い取組でもあり、社会教育関係者の皆さんにもぜひ関心をもっていただきたい」と呼びかけました。参加者は、部活動地域展開が学校だけの取組ではなく、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える社会教育としての側面をもつことについて改めて認識する機会となりました。



説明する有働主査